

会報

第 29 号 (2015/8/1)

広島県福山市木之庄町 4-3-14

Tel&Fax:084-917-5937

Mail:info@crrc-fukuyama.org



Community Renaissance
Research Center

8・9月の予定



合唱

8月5日(水)14時〜

- ・場 所：ルネッサンス研究所集会室
- ・講 師：村山ひろみさん
- ・参加費：500円

地域の絆の利用者さんと一緒に、月2回ほど合唱の講座を始めます。11月の仁伍音楽祭のステージで発表できることを目標にしています。

歌謡曲・童謡など楽しみながら一緒に歌ってみませんか。



FAXまたはメールで申し込んでいただければ幸いです

京都ゆうづつの里

視察研修ツアー(予告)

・時期：9月下旬〜10月上旬

(現在調整中)

・内容：施設の見学(人生の最終段階での諸サービス)、宿泊、食事体験など。翌日は世界遺産の平等院、宇治上神社見学などを考えています。

・参加費：約一万円

(宇治までの交通費を除いた)

宿泊・食事代)

「ゆうづつの里」とは、介護付き有料老人ホームで、その母体は1973年(昭和48年)に設立された「日本老人福祉財団」です。

この施設は「人が人として生きるための尊厳を大切にし、しかも自分らしく生きがいのある人生最後のステージを悠々と

お過ごしいただくための居住空間・日常生活サービス・介護サービスを提供し、ご入居された皆様に大きな安心感に裏付けられた「充実した自分らしい人生」を送って頂くことを大きな目標としています。

(ゆうづつの里 パンフレットより)

現在、伊豆高原、神戸、湯河原、大阪、佐倉、浜松、京都と7カ所の施設があります。

紙芝居と平和を考える会

紙芝居

7月11日(土)14時より、ルネッサンス研究所集会室にて、紙芝居と平和を考える会を開催しました。19名の参加でした。

まず初めに、昨年当NPOで作製した「被爆アオギリ物語」の日本語版を斉藤静江さん(地域の絆の利用者さん)、英語版を小畑千博さん、フランス語版を大庭三枝さんに読んでいただきました。

斉藤さんは読めるかなと心配されていたそうですが、しつかりと声が出て、16枚ある紙芝居を最後まですらすらとお一人で読めました。英語・フランス語は普段あまり聞くことがありませんが、違う言葉で聞く紙芝居はまた新鮮で引き込まれました。子どもたちも、みんな紙芝居を読むのが上手だね、フランス語を初めて聞いた、と言って喜んでいました。



日本語版を読んでもらった斉藤さん

なぜヒロシマに原爆か

ヒロシマの加害と被害の歴史

その後、ヒロシマの歴史について廣中敏弘さんにお話して頂きました。廣中さんは小学生向けに平和学習を行ってこられました。どうして広島に原爆が落ちたのか？とたずねられることが多いそうです。

その答えの一つが宇品港です。

広島県の初代県知事である千田貞暁は、広島産業を発展させるためには、まず物資の輸送が円滑に行われることが必要であると考え、宇品に新しい港を建設する工事をすすめる。宇品港の建設には、長い年月と多額の費用を費やしたが、開港当初はその価値が認められず、失策とする意見も多かった。しかし、開港から5年後、陸路を何日もかけて歩く時代だったが、山陽鉄道(現在の山陽本線)が広島駅まで開通する。さらに、同じ年に始まった日清戦争のための軍事専用鉄道として、広島駅から宇品港までの宇品線が開通する。このため、宇品港は、兵隊や軍事物資の輸送など軍事輸送基地として重要な役割を果たすことになる。

当時アメリカは沖繩戦に3ヶ月かかり、当初の予定よりかなり長引いていた。ロシアも攻めてくるといふ情報から、早く戦争を終わらせたかった。戦争が終わる直前、本土決戦に向けた基地が、東は東京、西は広島にあったため、原爆を落とす対象に広島が狙われた。

広島は、漢字・カタカナ・ひらがなで表され、それぞれ使い分けられている。

広島 … 軍と広島について説明するとき
 ヒロシマ … 被爆について説明するとき
 ひろしま … 平和な社会を作ろうとき

発信するとき



戦争体験

戦争体験をお持ちの方が10人くらい出席くださっていましたが、時間がなく4人の方にお話していただきました。80代、90歳代の方々の戦争体験をもっとくわしく聞き取りを今やらなければ、と思いました。

内林さん

現在93歳。昭和16年、18歳のときに徴兵。フィリピンに上陸、ジャワ、スマトラ、シンガポール、

旅順、大連などで戦った。敵の飛行機が機銃照射し、あとは血がいつぱいだった。戦争が終わってしばらく経ってから日本に帰って来られた。

川本さん

現在92歳。17歳のときに尾道から一週間かけてフィリピンへ。仲間が目の前で死んでいく光景が今でも焼き付いている。水さえもなく、雨水や川の水でのいだ。今の若者は命を粗末にしているが、もったいない。自分の命があることを、今日生きていることにサンキューベリーマッチ！



お話の内容をまとめて頂きました。赤いシャツと白いジャケットがお洒落でよくお似合いです。

細井さん

現在89歳。二度と戦争をしてはいけない。戦ってはダメです。尊い人命を失ったことに礼を尽くしたい。

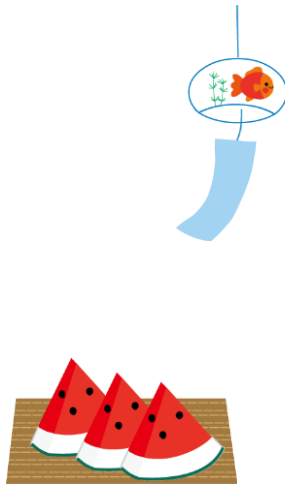
高下さん

現在 83 歳。終戦時、女学生だった。農家に勤
 労奉仕しており、勉強するのは雨の日だけ、音
 楽は校歌を習っただけだった。空襲のサイレンが
 鳴ると溝に隠れてじっとしていた。出征する兵士
 を送り出すときに家族が泣いているのを見て、
 どうして泣いているのか不思議に思っていた。

いつもお腹が空いていて、お米の中に芋を混ぜ
 て、芋ばかりを食べていた。コップの中に玄米を
 炒ってお湯を入れたものをリュックの中に持ち帰
 り、帰り着く頃には膨らんでおり、これを食べ
 るのがとても楽しみだった。

終戦後、初めて高等学校ができて編入した。

おやつに、三浦さんお手製の水ようかんと蒸
 しパン、藤原さんのご自宅で採れたスイカをい
 ただきました。手作りのおやつはとても美味し
 くて、皆さん食がすすんでいました。



全国ネットワーキング委員会に出席

既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネット
 ワーク委員会の今年度第1回の全体委員会が7
 月21日霞ヶ関ビルであり、加納が出席してきま
 した。

開会の挨拶、来賓の挨拶(国土交通省、文部
 科学省)の後、2014年度事業報告・収支決算
 および2015年度の事業計画・収支予算の審議
 の後、新規入会2団体の報告等がありました。

参加団体のJSCA(日本建築構造技術者協
 会)国際委員会から、ネパール地震の翌日(4月
 26日)より行われた救援活動について報告され
 ました。

また、(社)日本建築防災協会からはアンケ
 ー調査への協力と、「現在の耐震判定委員会受付
 状況」に変更があつた場合の早急な連絡依頼が
 ありました。約10分の休憩後、①国土交通省か
 ら「建築物の耐震対策と建築基準法の改正につ
 いて」、②文部科学省から「学校施設の耐震化の
 推進」、③東大地震研究所から「ネパールゴルカ
 地震日本建築学会災害調査結果の速報」の講座
 がありました。

その他として、①建築基準法の改正により、
 次は地方公共団体が指定する緊急輸送道路沿
 道建築物、都道府県が指定する庁舎、避難所等
 の防災拠点建築物の耐震診断結果公表義務等
 規制が強化された。②広島県は大規模な旅館

等の耐震改修支援策がとられていない10府県の
 一つである。③木造住宅には独居高齢者の居住
 が多いのでこれからはこの改修が課題である。
 木造建築に集成板を使うと、かなり高層も可能
 になるとのこと。里山資本主義にも集成材が強
 いとあつたが、今年はじめてそのことにふれられ
 たのが印象的であつた。④エレベーターの地震防
 災対策のほかに土砂災害に備える建築物の基準
 が出された。

編集後記



梅雨が明け、暑い日が続いていますね。

涼みに行くのも兼ねて、ふくやま美術館で展
 示中の岩合光昭さんの写真展「ねこ歩き」を見に
 行ってきました。累計来場者数50万人を突破し
 たという、人気の全国巡回展です。

飼いたいけれど飼えないので、写真で我慢。ど
 れも本当にステキで、いきいきとしたネコらしい
 表情を捉えていました。ネコ好きのみならず、見
 終わって出てくる方が皆さん笑顔♪

忙しい毎日ですが、ホッと一息つける美術館に
 足を運んで見るのもよいですね。(原)

